

関田 良 せきた りょう

#### 職名

学長・教授

#### 学歴・学位・経歴

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業（芸術学士）

ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院（現 ショパン音楽大学）研究科修了(Akademia Muzyczna im.Fryderyka Chopina Warszawa Polska,Dyplom Stażu)

#### 主な担当科目

音楽Ⅰ・Ⅱ、表現の指導法、芸術表現、幼児と表現

#### 専門分野

音楽教育 芸術教育

#### 研究内容

保育者養成における表現教育

子どもの表現と芸術

中欧の民族主義音楽の研究と演奏

#### 所属学会

日本音楽教育学会、日本保育学会、日本保育者養成教育学会

#### メッセージ

園庭を駆けまわる子どもたちの声、野鳥のさえずり、船の汽笛、樹々のさざめき・・・神戸の港と六甲の山並みを臨む緑豊かな頌栄のキャンパスは、優しい音が織りなす美しいサウンドスケープの宝庫でもあります。当たり前のようにとらえていた音の一つひとつにあらためて耳を澄ますことは、聴覚だけでなく、五感全体が柔らかく開かれてゆく契機となります。感性を磨きつつ、人の心をつなぐ音楽と表現、そして芸術が発展する奥深さを一緒に味わいましょう。

#### 主な業績

##### ●著書

『表現者を育てるための保育内容「音楽表現」～音遊びから音楽表現へ～』教育情報出版、2020年（共著）

『検証 2017年学習指導要領—豊かな学びの創造にむけて— 総則・教科・領域別』アドバンテージサーバー、2018年（共著）

『保育の表現技術実践ワーク～かんじる・かんがえる・つくる・つたえる～』保育出版社、2016年（共著）

##### ●論文・実践報告

「保育者養成課程における鍵盤楽器教育の意義（2）～『音をつくる』という視点を通して～」『頌栄短期大学研究紀要』第48巻 2024年（単著）

「保育者養成課程における鍵盤楽器教育の意義（1）～『打つ』動作との関わりを通して～」『頌栄短期大学研究紀要』第47巻 2023年（単著）

「保育専攻学生の芸術観と表現活動—『限界芸術の概念を通して』—」『頌栄短期大学保育者養成教育実践論叢』第9号 2022年（単著）

「保育者養成カリキュラムの現状と課題（2）－高等学校との履修科目の接続性から－」『頌栄短期大学研究紀要』第42巻 2018年（共著）

「建学の精神に基づく『総合表現』－『領域』と『キリスト教』の接近－」『頌栄短期大学保育者養成教育実践論叢第1号 2018年（共著）

「保育者養成における音楽教材の変遷—1950年代のピアノ教材を中心に－」『頌栄短期大学研究紀要』第41巻 2017年（共著）

「保育者養成カリキュラムの現状と課題（1）－高大接続の視点から－」『頌栄短期大学研究紀要』第40巻 2015年（共著）

「保育者をめぐる諸問題－最善の保育環境をめざして－」『安心の子育ち・子育てシステムを一幼保システム研究委員会報告』、国民教育文化総合研究所編 2011年（単著）

#### ●学会発表

「保育における音楽教材-増子としての幼児音楽観を通して-」日本保育者養成教育学会第3回研究大会（共同）2019年

「保育者養成における音楽教材の変遷（2）－1940年代の遊戯課目と音楽の関わりを通して－」保育者養成教育学会第2回大会 2018年（共同）

「保育専攻学生の芸術観と表現活動」日本保育学会第70回大会 2017年（単独）

「保育者養成カリキュラムの現状と課題（3）－芸術系科目の接続を中心に－」全国保育士養成協議会第55回研究大会 2016年（共同）

「保育者養成における表現系カリキュラムの再考－学生の音楽経験に着目して－」日本保育学会第69回大会 2016年（単独）

「実習指導につながる初年次教育－基礎演習の計画から実践まで－」日本保育学会第69回大会 2016年（共同）

#### ●その他、社会活動等

社会福祉法人 三光事業団 理事 2021年～

「パイプオルガン演奏会」頌栄短期大学 2017年

コープこうべ パイプオルガン講座講師 2017年

「関田良 ピアノリサイタル－中欧の響き・大地のリズム－vol.2」兵庫県立芸術文化センター小ホール 2009年